
レセプト等のデータ分析に基づいた保健事業の立ち上げ支援事業 「先進的な保健事業の実証等」に関する報告

2015年3月
エスアールエルグループ健康保険組合

〒191-0002東京都日野市新町5丁目4-2
TEL:042-586-4571 FAX:042-582-3290
URL:<http://www.srlg-kenpo.or.jp/>
Mail:srlg-kenpo@srl.srl-inc.co.jp

報告書の目次

- I. 事業実施に至る背景・目的
- II. 健康スコアに関する報告
 - 1. 具体的な事業内容・事業実施体制
 - 2. 実施状況
 - 3. 事業の評価指標及びその結果
 - 4. 評価結果をふまえた今後の事業の方向性
- III. 夫婦プログラムに関する報告
 - 1. 具体的な事業内容・事業実施体制
 - 2. 実施状況
 - 3. 事業の評価指標及びその結果
 - 4. 評価結果をふまえた今後の事業の方向性
- IV. まとめ

I. 事業実施に至る背景・目的

II. 健康スコアに関する報告

III. 夫婦プログラムに関する報告

IV. まとめ

Ⅰ. 事業実施に至る背景・目的_サマリー

加入者の健康増進及び医療費の適正化を目的とし、まずはメタボ重症化予防に注力。事業拡大の素地づくりを狙った「健康スコア」、「夫婦プログラム(健康フェア)」を実施した。

■ 当健保のビジョン

- エスアールエルグループ健康保険組合は、3つのステークホルダーから、何かあった時に、“ありがとう”と言われるようなサービスをいつまでも提供する姿を目指していくことをビジョンとしている
- これまで以上に加入者の健康増進を図るべく、被扶養者も含め、加入者に積極的に働き掛けることを目指している。

■ 医療費の分析から抽出された課題

- 当健保の財政は2013年まで赤字が続いており、2014年には保険料の引き上げによって黒字に転じたため、今後保険料の維持を目指すには医療費適正化が不可欠である。
- 一方、医療費の分析からは特にメタボ重症患者の影響が大きいことや、重症予備軍が確実に増加しつつあることが判明。対策が求められることが分かった。

■ 前年度の取り組みから抽出された課題と対策方針

- リスクアプローチを行うだけでは、事業の実行力・参加者の拡大に限界があることを認識。また、データヘルス計画の策定に伴い、メタボ系対策およびコラボヘルスについて、事業主の協力が必須であることを再確認した。
- 本年度は、事業主の巻き込みや、参加者拡大に向けたイベントなどの仕組みを企画することを対策の方針とした。

■ 本事業での取り組み

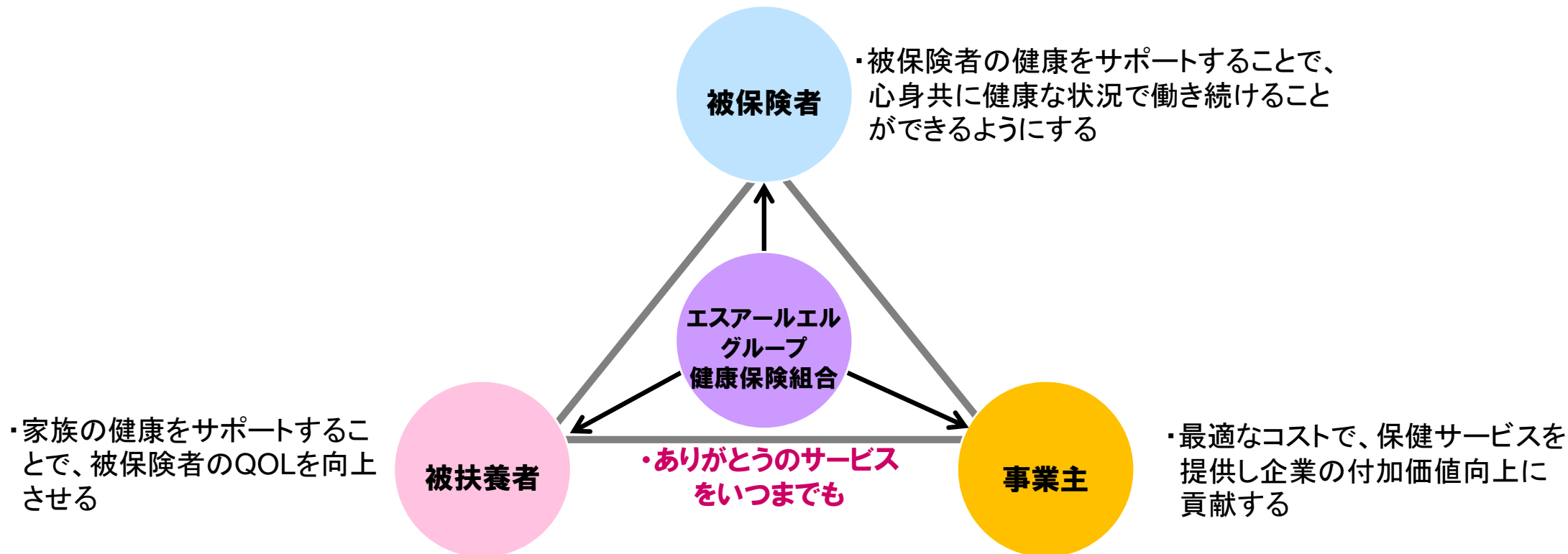
- そこで、事業拡大の素地づくりを期待できる、「健康スコア」「夫婦プログラム(健康フェア)」について、来年度以降の拡大に向けて、試行的に事業実施をした。

1. 事業実施に至る背景・目的_当健保のビジョン

エスアールエルグループ健康保険組合は、被扶養者に対しても積極的に関与することと、心身共に健康増進させるサポートを進めていく。

■ 健保Vision

- エスアールエルグループの社員とその家族に対し、積極的に心身共に健康増進することで安全と安心を提供し、企業の付加価値向上に寄与する。



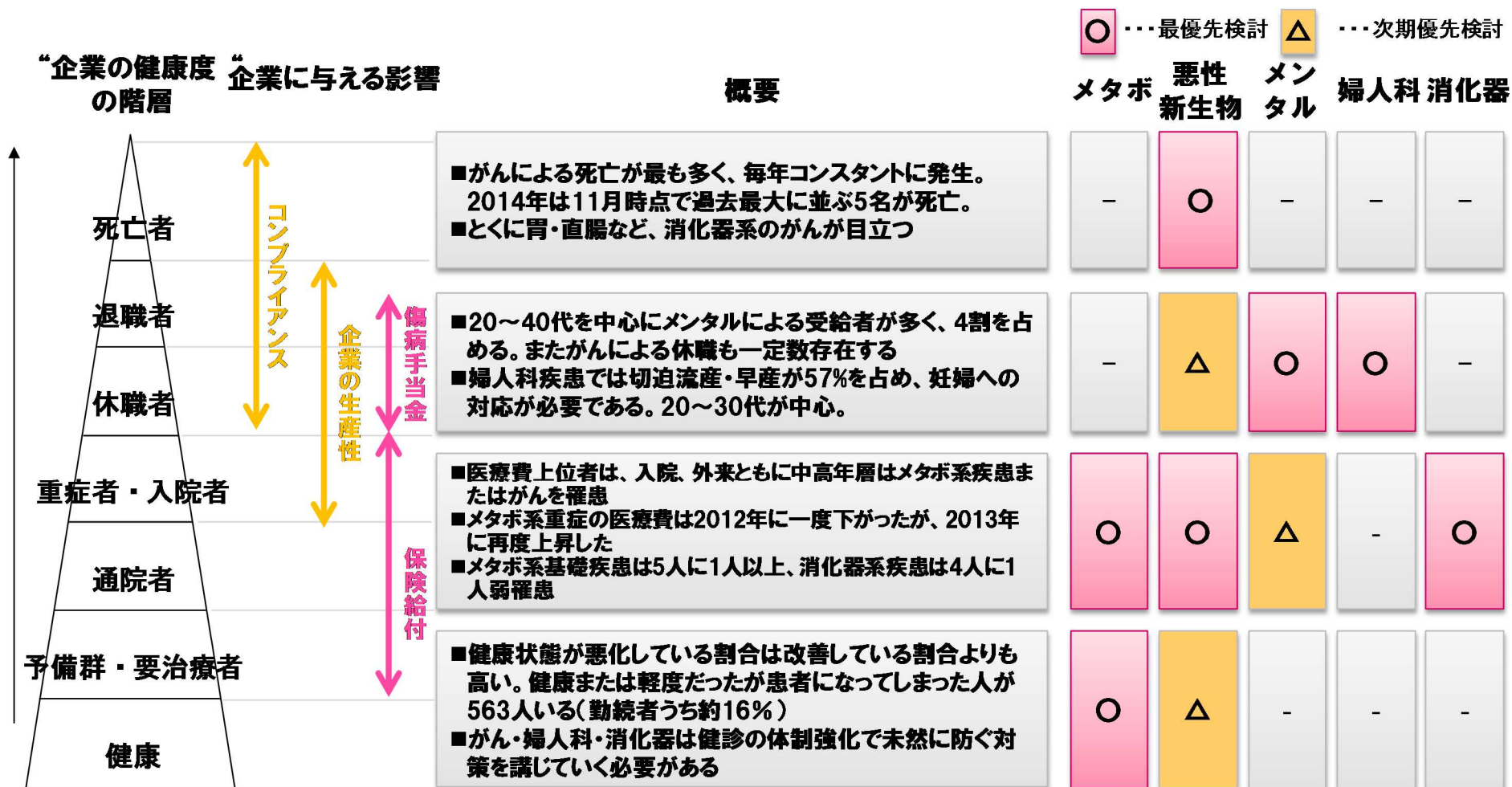
エスアールエルグループ健康保険組合は、3つのステークホルダーから、何かあった時に、“ありがとう”と言われるようなサービスをいつまでも提供する姿を目指していく

1. 事業実施に至る背景・目的_医療費の分析からあぶり出された課題

医療費の分析からは特にメタボ重症患者の影響が大きいことや、重症予備軍が確実に増加しつつあることが判明

■分析に基づいた課題優先度の抽出

- 疾患別では、昨年度と変わらずメタボ系疾患での対策優先順位が高いが、よりがん対策の重要性が増している。次いで婦人科系・消化器系に関しては引き続き、対策構築が必要



Ⅰ. 事業実施に至る背景・目的_医療費の分析からあぶり出された課題

医療費と健診データを紐づけたセグメント分析では、夫婦ともに基礎疾患を有する場合にメタボ重症化率が高いことが判明。

セグメント		2011年度該当者数※	内、2012年度重症化数	メタボ重症化率
①高リスク家族	両方基礎疾患	151	23	15.2%
	片方が既に重症化	62	5	8.1%
②治療効果低群	糖尿病	27	1	3.7%
	高血圧症	43	6	14.0%
	脂質異常症	40	2	5.0%
③健康不良状態放置群	糖尿病	61	4	6.6%
	高血圧症	130	15	11.5%
	脂質異常症	178	14	7.9%
④低改善モチベーション群		688	59	8.6%
⑤若年層のメタボ系肥満群	40代前半	239	18	7.5%
	20代~30代	669	26	3.9%
⑥健診未受診群		1,110	56	5.0%
⑦重症疾患発症予備群		84	4	4.8%
⑧突然死予備群		4	0	0.0%
⑨ドクターショッピング群	糖尿病	2	0	0.0%
	高血圧症	1	0	0.0%
	脂質異常症	2	0	0.0%
⑩治療中断群		118	11	9.3%
⑪重症経験群		767	90	11.7%
⑫上記以外の未重症化群		8,532	272	3.2%

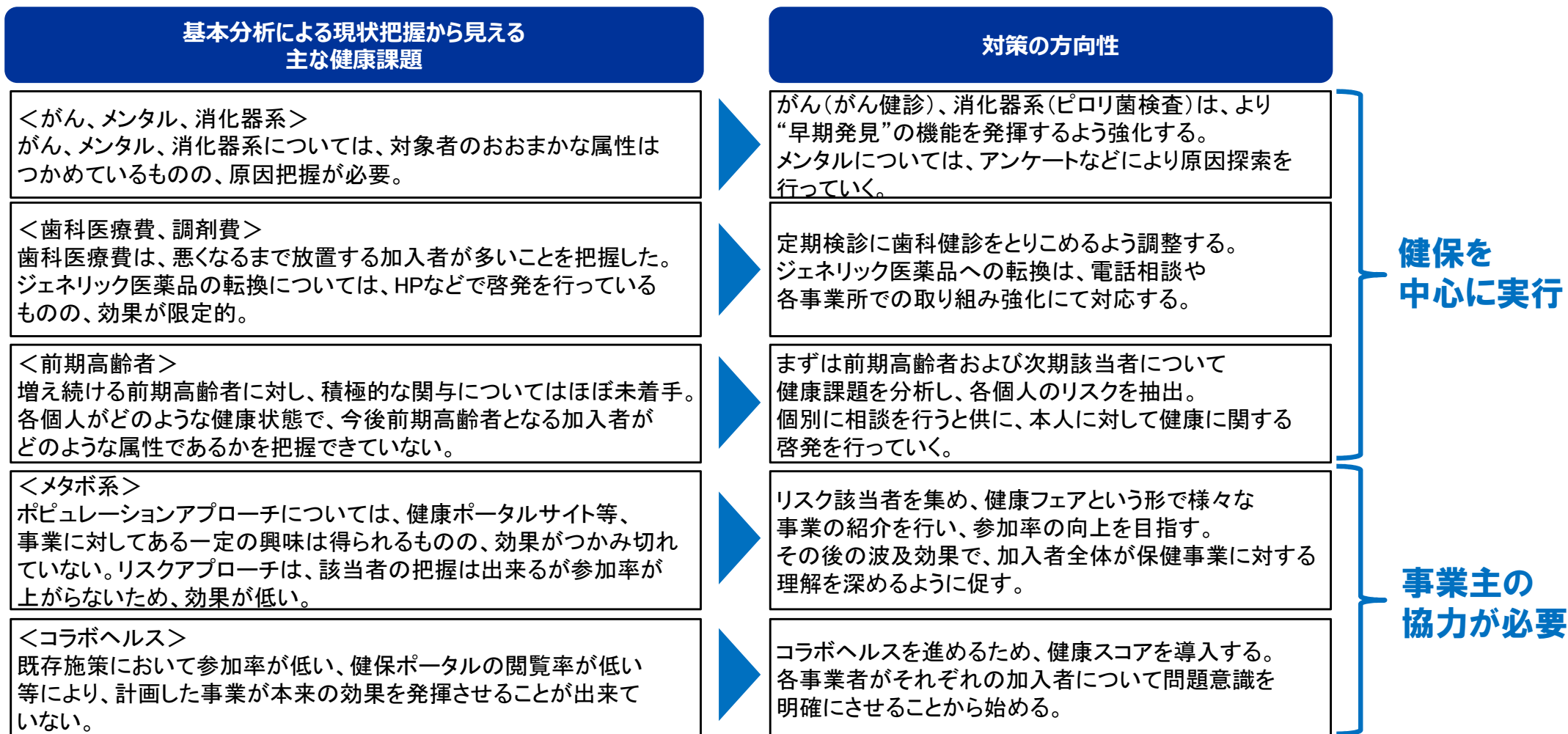
※)メタボ系基礎疾患で治療を開始している人は除外

1. 事業実施に至る背景・目的_前年度の取り組みからあぶり出された課題と対策方針

データヘルス計画の策定に伴い、とくにメタボ系の対策とコラボヘルスについて、事業主の協力が必要であることを再確認した。

■ 対策の分担

- ガン、メンタル、消化器系および歯科医療費、調剤費、前期高齢者対策は、健保を中心に実行するとして、先進的な取り組みの対象外とした。



1. 事業実施に至る背景・目的_本事業での取り組み

そこで、事業拡大の素地づくりを期待できる、「健康スコア」「夫婦プログラム(健康フェア)」について、来年度以降の拡大に向けて、試行的に事業実施をした。

<健康スコア>

■ 概要

- 各事業者の健康状態を共通の評価指標によってスコア化を行い、各事業主の課題の見える化、対策構築へと繋げた。

■ 狙い

- 事業主の巻き込み
 - ・ これまで健保のみで行っていた健康施策などを、事業主も巻き込むことでより一層の効果を持たせることができるようにしたい。
- 運用の定着化
 - ・ 事業主にとっての「定量的に把握したい」というニーズに応えながら現場を利するスコアを構築することで、一時的な取り組みに留まらず、運用を定着させることが大きな目的である。

<夫婦プログラム(健康フェア)>

■ 概要

- 夫婦(家族)で参加出来る健康イベントを健保が主催。自身の健康状態の現状把握を行うための体力・身体測定や、運動・食事に関する講義を実践的に学ぶ機会を設けた。

■ 狙い

- 保健事業参加への誘導
 - ・ 各種保健事業への参加を促すため、保健事業よりもハードルの低いイベントに参加させ、そこで勧誘を行うことで保健事業への参加を誘導する。
- 参加者の生活態度改善・施策の効果最大化
 - ・ 夫婦同時に健康改善のプログラムを受けることが出来るようにすることで、イベントの参加率を向上させる。また、当日の効果最大化、及びその後の改善活動について継続性が期待できるとの狙いがある。
- 世帯における課題の明確化
 - ・ これまであまり明らかになって来なかった、夫婦単位での健康問題について、被保険者・被扶養者の関係をふまえながら課題蓄積し、明確にする。

I. 事業実施に至る背景・目的

II. 健康スコアに関する報告

III. 夫婦プログラムに関する報告

IV. まとめ

II.健康スコアに関する報告__具体的な事業内容・事業実施体制

具体的な実施内容は以下の通り。

■ 事業実施計画

- 個人情報の管理に配慮しながら、提供可能な情報を事業主から得る。適宜、さらに必要な情報はアンケートなどで補てんする
- スコア化の考え方・開示の仕方を構築し、実際に開示までを行う。

■ 事業実施方針

- 健康状態を把握する基準を全事業所で統一し、事業所ごとに同じ項目を比較することで、経年変化を正しく把握できるようにする。
- 事業主にとってわかりやすい基準とすることで、健康保険組合と事業主が常に協力した体制で、加入者の健康管理に関与することが出来るようにする

■ 事業の内容

- スコア化のスキーム構築
- スコア運用のスキーム構築
- 実データを用いたスコア化の実行
- 実データを用いたスコアの公表
- 事業主を巻き込んだ情報収集(課題と差分の認識)
- 定点観測スキームの構築

■ 事業実施体制

- エスアールエルグループ健康保険組合を主体に、株式会社フォーネット、エスアールエル九州事業所の協力を得た。
- 野村総合研究所に支援を依頼し、スコア化の実施を委託した。

II.健康スコアに関する報告_実施状況

**健康スコアについては、実際に19事業所についてのスコア化を実施することが出来た。
健康課題に関するディスカッション・目標設定は2事業所で実施した。**

	スキーム	内容	分担案
19事業所で 実施	健康スコア結果 開示・説明 事業提案	<ul style="list-style-type: none"> ● 健康スコアの結果を担当者に開示する場を設け、解釈の説明をする ● 課題に対するソリューションにあたる事業を提案 	健保組合
	健康課題に関する ディスカッション	<ul style="list-style-type: none"> ● 健康スコア結果をもとに、現場との実感との差分を認識した上で、課題を再確認する ● 当該事業所に実行可能な事業を選択頂く 	健保組合 当該事業所
2事業所で 実施	当該事業所における 目標設定	<ul style="list-style-type: none"> ● 現状値をもとに量的な目標設定を行い、管理指標を定める 	健保組合、 当該事業所
	当該事業所における PDCA継続の 体制構築	<ul style="list-style-type: none"> ● 管理指標を管理する担当者や、その観測方法など、PDCAを回す上で不可欠な機能を持った体制を構築する 	当該事業所

II.健康スコアに関する報告__実施状況

2010年～2012年の三ヶ年分のデータをスコア化。

最新年度の状況を把握するとともに、これまでの推移を比較できるようにした。

使用したデータ

- ① 健診データ3年間分
 - 全加入者分の2010年～2012年度健診データ
(数値データ・問診内容も含む)
 - 事業所別・性別・40歳未満/以上に分類
- ② レセプトデータ3年間分
 - 全加入者分の2010年～2012年度請求データ
 - 請求を個人で合算させた後、請求区分・疾病別に分類
 - 事業所別・性別・40歳未満/以上に分類
- ③ 適用・事業所データ3年間分
 - 2010年～2012年度の年度初め4月の所属人数を、事業所別・性別・40歳未満/以上に分類

分析スキーム

- ① 事業所別健診データ集計・分析
 - 健診受診率分析
 - 肥満率分析
 - 喫煙率分析
 - 不適切な飲酒分析
- ② 事業所別レセプトデータ集計・分析
 - 1人当たり医療費分析
 - 主要疾病分析
 - 通院・入院日数分析
- ③ 事業所別健診/レセプト紐づけ集計・分析
 - 健診あたり通院実績、治療中断実績などを含む、健診・医療費に基づいたメタボ重症化リスク分析
- ④ 事業所別データのスコア化
 - スコアについては、健保連の平均・分散データを参考に、各20～25点満点の範囲内で点数づけを設定
 - ①～③の分析結果をスコア化し、「健保財務の健全性」「被保険者の労働生産性」「コンプライアンス」に読み替えて合算した

スコア化されたデータ

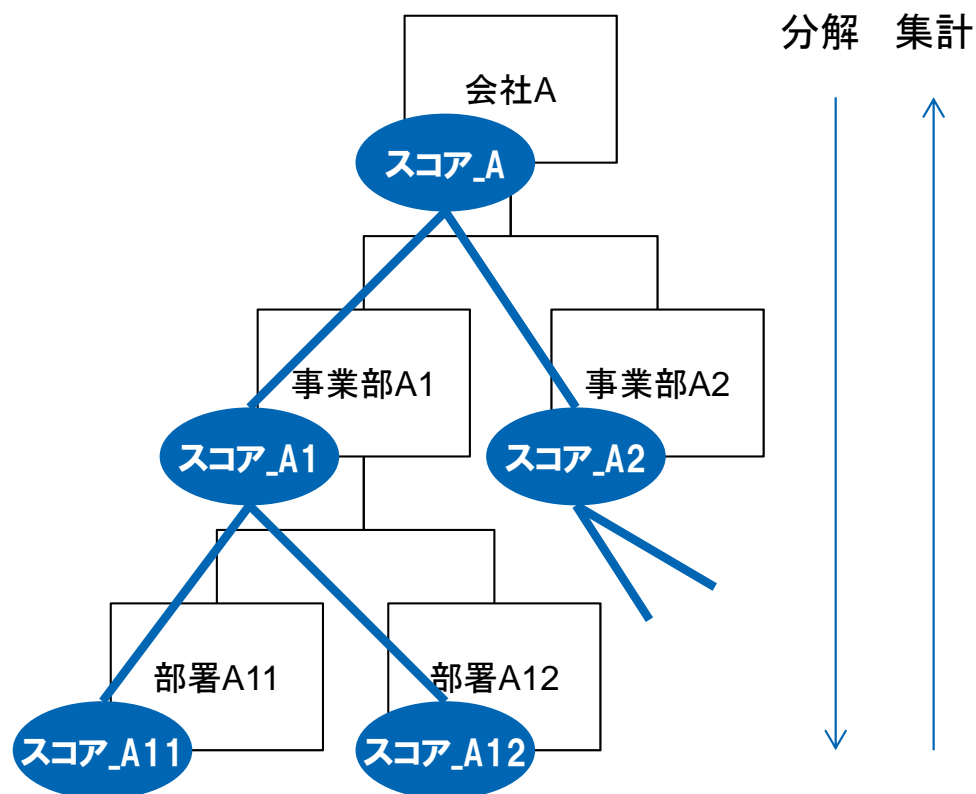
- ① 事業所別スコア
 - 2010年～2012年度のスコアデータが事業所別に可視化(各資料はA4×1枚)
- ② 事業所別課題
 - 各スコアの解釈とともに、抽出された課題と対応の方向性を追記
- ③ 事業所別結果の一覧化
 - 全ての事業所の最新年度のスコアデータを一枚にまとめることで、一覧化(A4×1枚)

II.健康スコアに関する報告_実施状況

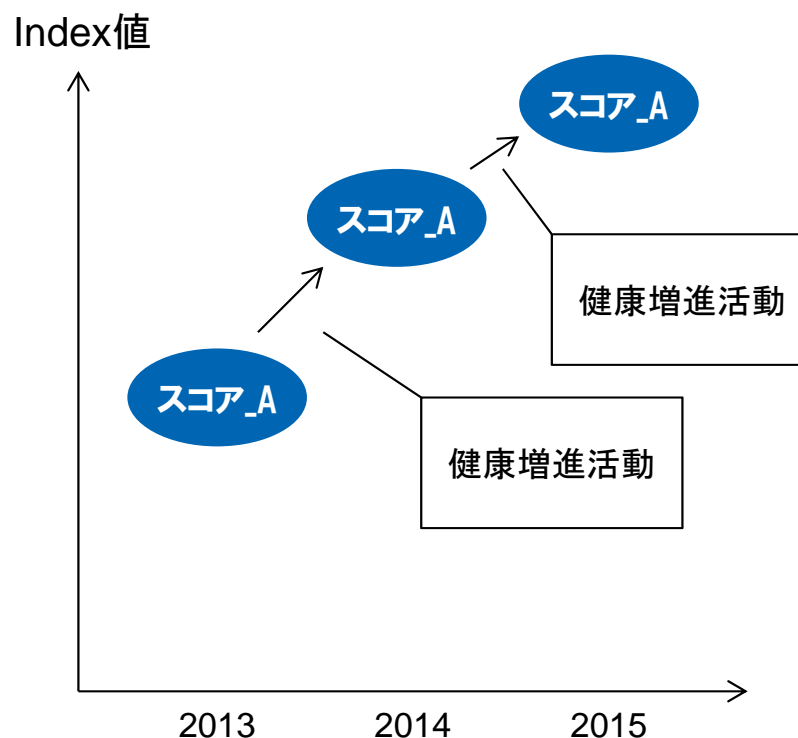
医療費だけでなく指標を用いて事業所単位で健康経営を意識づけることを目指した

- 会社単位で1つのスコアを作成するが、事業所や部署などでも分解できるようにすることで、事業所単位や部署単位でスコアを高めるよう動機づけする。ただし、個人が特定できないよう配慮する。
- スコアを毎年モニタリングすることで、改善活動を継続できるようにする。

組織間の分解と集計イメージ

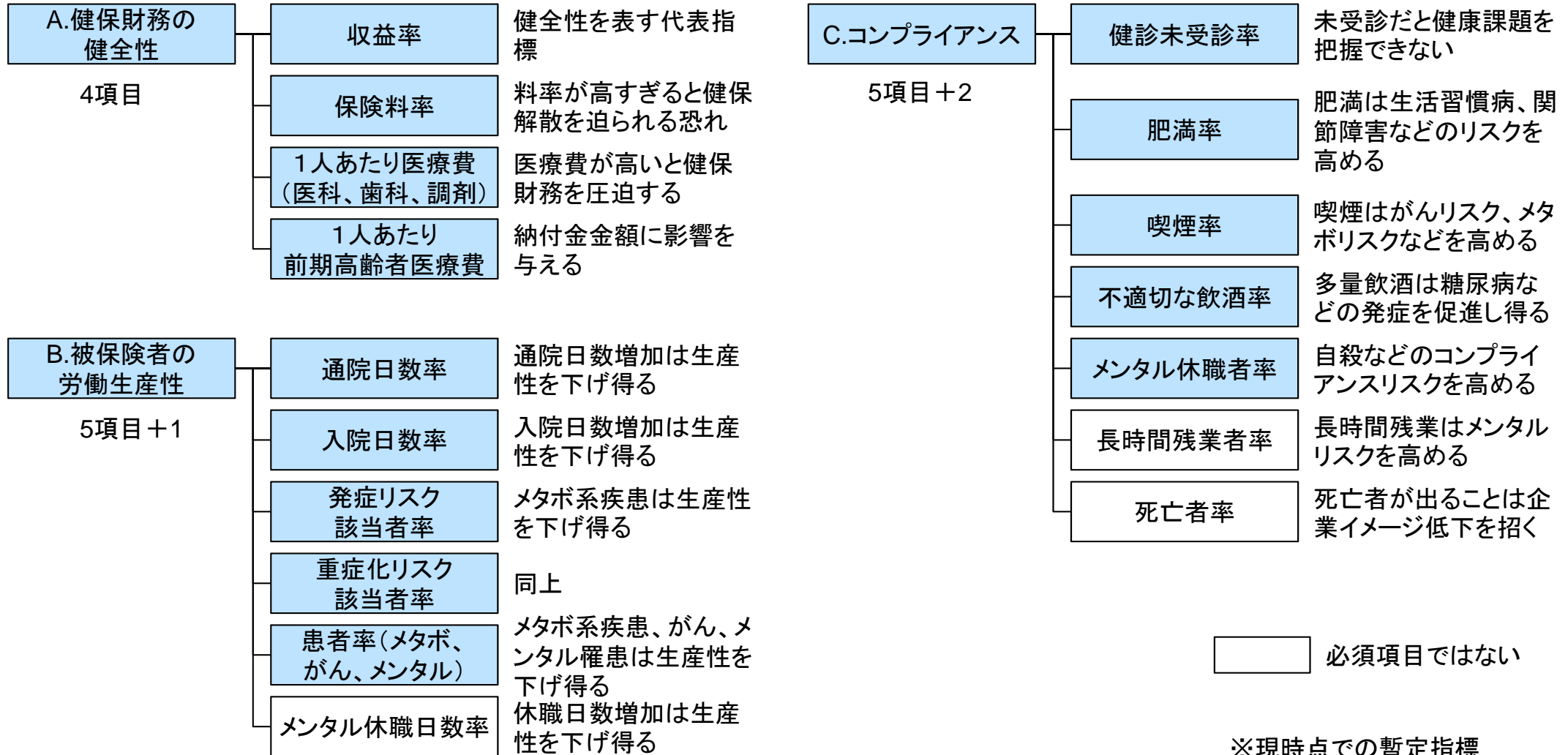


スコアの改善イメージ



II.健康スコアに関する報告_実施状況

参考)健康スコアは「**健保財務の健全性**」「**労働生産性**」「**コンプライアンス**」の3つの指標で構成。3項目はそれぞれ、詳細指標で構成。



必須項目ではない

※現時点での暫定指標
※詳細は別紙参照

II.健康スコアに関する報告__実施状況

指標別に採点基準を設定し、点数化して管理した(組織ごとに集計)。

■ 収益率以外は、数値が低いほうが点数は高くなる。

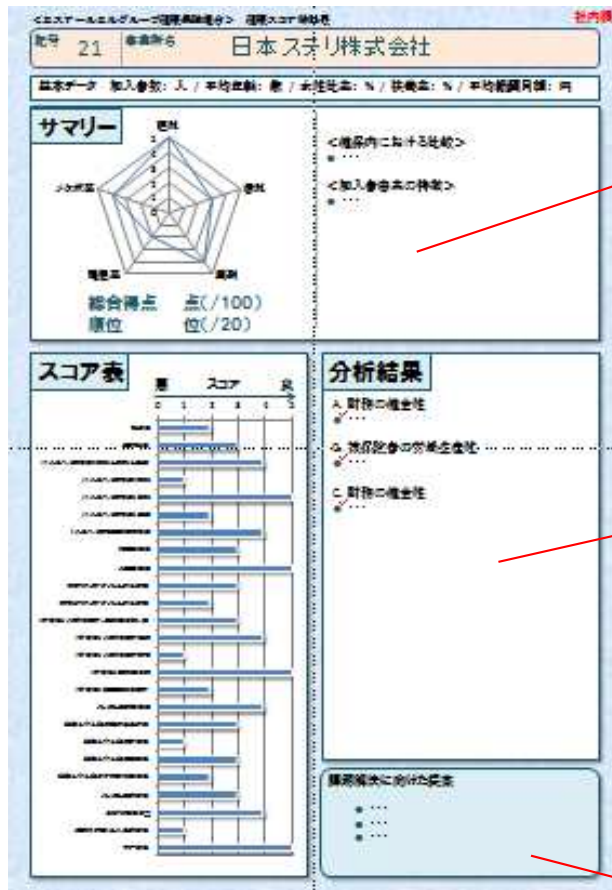
		指標	配点	採点基準				
A.健保財務の健全性 4項目100点	保険料率	25点	110以上 0点	100~110 5点	80~100 10点	60~80 15点	60未満 25点	
	1人あたり医療費 (医科、歯科、調剤)	25点	20万円以上 0点	15~20万円 5点	12~15万円 10点	10~12万円 15点	10万円未満 25点	
		:						
B.労働生産性 5項目100点	重症化リスク 該当者率	20点	50%以上 0点	40~50% 5点	30~40% 10点	20~30% 15点	20%未満 20点	
	患者率(メタボ、 がん、メンタル)	20点	50%以上 0点	40~50% 5点	30~40% 10点	20~30% 15点	20%未満 20点	
		:						
C.コンプライアンス 5項目100点	健診未受診率	40点	50%以上 0点	40~50% 10点	30~40% 20点	20~30% 30点	20%未満 40点	
	肥満率	15点	40%以上 0点	30~40% 3点	20~30% 5点	10~20% 10点	10%未満 15点	
	喫煙率	15点	30%以上 0点	20~30% 3点	15~20% 5点	10~15% 10点	10%未満 15点	
		:						

II.健康スコアに関する報告_実施状況

健康スコアは、わかりやすくグラフ化した資料を、各事業所の担当者に配布できるようにした。

- 各事業所ごとのスコアは、当該事業所にしか開示しないものとした。

各事業所ごとのスコアイメージ



課題のサマリー

スコアおよび
課題の解釈

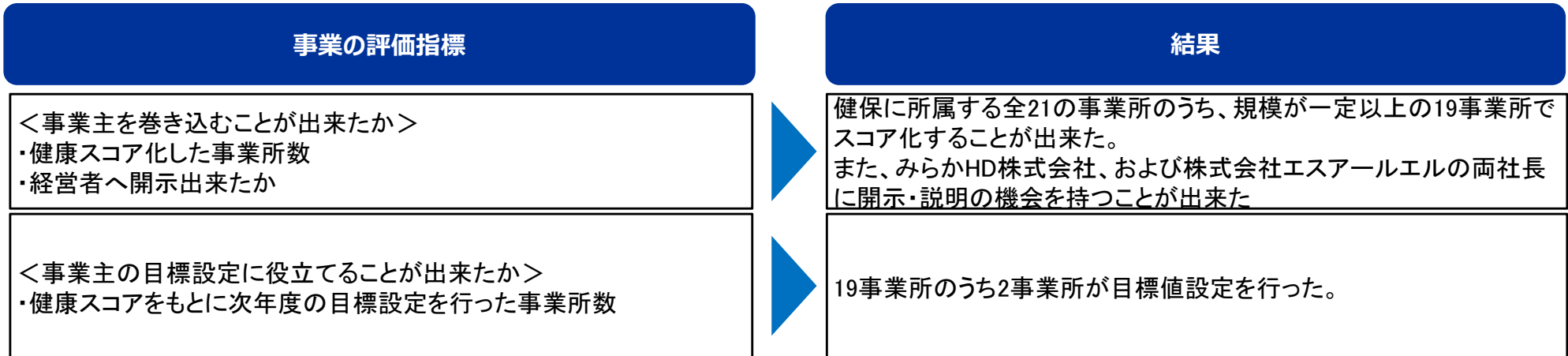
健保全体のスコアイメージ



課題の解決方法を提案

II.健康スコアに関する報告_事業の評価指標及びその結果

今年度は、19の事業所でスコア化することが出来た。ただしスコアを用いた目標値設定は2事業所に留まるため、今後の拡大が必要



II.健康スコアに関する報告_評価結果をふまえた今後の事業の方向性

本年度は、スコア化の内容をほぼ確定する事が出来た。来年度以降は、スコアをもとにPDCAを回す体制の構築としくみの定着化を目指す。

■ 成果

- 今年度の大きな成果は、以下の三つである
 - ・ 全21事業所のうち19事業所のデータでスコア化を行い、スコアの内容をほぼ確定させた
 - ・ スコアを並べることで、事業所別に特徴の差分を可視化することが出来た
 - ・ スコアを一部の事業所に開示することで、事業所の目標設定に活用することが出来、かつ健保と事業所のコミュニケーションツールとして役立てることが出来た

■ 課題

- ① 健康スコアの定常的な運用に向けて、その解釈および活用方法を議論する場を設けていくことが重要
- ② 各事業所が結果をふまえて現状を把握し、それぞれの事業所にあった施策を自発的に選択・実行していくことが、実行力の強化には不可欠

■ 今後の方向性

- ① 健康推進委員会の設立
 - ・ 現状ではスコアは一部事業所への開示に留めているが、将来的には全ての事業所に開示していくことが必要であり、そのためにも健康推進委員会の立上を行う
- ② 運用スキームの構築
 - ・ 開示された事業所側でも、健康スコアに基づいたPDCAを回すスキームを構築するような仕組みを確立させる

I. 事業実施に至る背景・目的

II. 健康スコアに関する報告

III. 夫婦プログラムに関する報告

IV. まとめ

III.夫婦プログラムに関する報告__具体的な事業内容・事業実施体制

具体的な実施内容は以下の通り。

■ 事業実施計画

- 7月(当初予定は5月)から3ヶ月間、東海大学の萩先生により開催する夫婦健康プログラムに、加入者の夫婦を任意で参加させる。
- 参加応募用紙を送る対象者は、これまでの分析結果をもとに選定する。

■ 事業実施方針

- 加入者の家庭環境・業務環境に配慮しながら、計画の進行を行う。

■ 事業の内容

- データ分析
- 対象者抽出
- ビラ作成
- 案内送付(電話督促あり)
- 事業内容の構築
- 施策実行管理
- 施策効果測定(適宜アンケート・ヒアリングを含む)
- 結果考察による次年度への課題を抽出

■ 事業実施体制

- エスアールエルグループ健康保険組合を主体に、株式会社フォーネット、エスアールエル九州事業所の協力を得た。
- 野村総合研究所に支援を依頼し、イベントの実施を委託した。
- イベント実行時には、東海大学教授の協力を得た。

III.夫婦プログラムに関する報告_実施状況

夫婦プログラムを全3回企画。1回目は参加者がいなかったため、2・3回目を実施することで当初の計画の目的を実現した。

■実施状況

- 合計3回(2014年7月、2014年12月、2015年3月)のイベントを企画した。
- 最初に計画した3カ月の実施プログラム(夫婦プログラム)では参加者を集めることが出来ず、開催出来なかった。そこで、2回目、3回目は1日限りの「健康フェア」として企画・名称を変更し、実施した。

	1回目	2回目	3回目
企画名称	• はっぴい教室夫婦編	• 家族で健康日和1日プログラム	• 家族で健康日和1日プログラム
期間・日程	• 2014年7月～11月(全10回)	• 2014年12月(全1回)	• 2015年3月(全1回)
対象事業所	• 全体	• 株式会社フォーネット	• SRL九州事業所
リスク対象者数	• 126名	• 23名	• 66名
郵送した人数	• 94名	• 129名(全社員に郵送)	• 50名
参加した人数	• 0名	• 18名(リスク対象者4名)	• 38名(リスク対象者7名)
うち夫婦参加組数	• 0組	• 5組	• 7組
次年度事業への参加意向を示した人数	• 0名	• 3名	• 7名

Ⅲ.夫婦プログラムに関する報告_実施状況

はっぴい教室(1回目)は、以下のような日程を企画した。

■ 7～11月、全10回のプログラムを企画した

	日 程	内 容
1回目	7月19日 14:00～16:00	オリエンテーション(アンケートなど) 測定(採血・身体組成及び体力測定)
2回目	7月26日 14:00～16:00	第1回 加齢に伴う身体の変化 ストレッチング、山筋ゴーゴー体操(自重での筋力トレーニング)
3回目	8月2日 14:00～16:00	第2回 食事チェックと食べ方の工夫 ストレッチング、山筋ゴーゴー体操、他
4回目	8月9日 14:00～16:00	第3回 健康づくりのための運動 ～3種の神器～ 山筋ゴーゴー体操、姿勢チェック、有酸素運動 など
5回目	8月30日 14:00～16:00	第4回 運動効果 ～サクセルフル・エイジングを目指して～ 山筋ゴーゴー体操、他
6回目	9月13日 14:00～16:00	第5回 運動で脳力もアップさせよう 山筋ゴーゴー体操、ステップ体操など
7回目	9月27日 14:00～16:00	第6回 太りにくい食べ方、動き方 山筋ゴーゴー体操、リラクゼーション
8回目	10月4日 14:00～16:00	第7回 食欲のメカニズムとリズムコントロール 山筋ゴーゴー体操、他
9回目	10月18日 14:00～16:00	測定(初回測定と同検査)
10回目	11月1日 14:00～16:00	フィードバック説明会

III.夫婦プログラムに関する報告_実施状況

健康フェア1日プログラム(2・3回目)は、以下のようなタイムテーブルで企画・実行した

■ 以下の内容をそれぞれ1日で実施した。

タイム テーブル	概要	詳細
9:30	受付開始	・運動着に着替えて集合(※更衣室を用意)
10:00~10:15	開始・ オリエンテーション	・当日の内容説明
10:15~12:00	体組成測定 健康体力チェック	・自分の体組成をまるごと測定。また、健康に生きるために 必要な体力をチェック
12:00~12:30	運動レッスン	・東海大教授より、自宅でも出来る、効果的な運動をレッスン
12:30~12:45	会場移動	
12:45~13:30	昼食・休憩	・ヘルシーなお弁当を配布
13:30~14:00	食べ方のススメ	・「食べ方のススメ」について講義を受講
14:00~15:10	健康プログラム紹介	・フェア後も継続的にご利用頂ける、健保提供の保健事業プログラムを紹介
15:10~15:30	アンケート記入 ・自由解散	・アンケート記入後、自由解散

III.夫婦プログラムに関する報告_実施状況

参考)配布したチラシ

第2回 チラシ

エスアールエルグループ健康推進協会
株式会社フォーネット

参加無料
フォーネット従業員・家族向け健康イベントのご案内

「家族で健康日和! 1日プログラム」

～正しい食事と運動レッスン(12/6(土)開催)～

「運動の秋」より「食欲の秋」というあなた! 家族で健康に過ごすため、「正しい食事」と「自宅で出来る運動」を学びませんか?
健康のプロを講師に迎えた、**昼食付き**のお得な1日プログラムにご参加下さい

日時 : 12/6(土) 10:00～13:30
場所 : 国立 さくらホール
対象者 : フォーネット従業員およびそのご家族
申込み : 事前申し込み(FAX/e-mail/電話)
お切り : 11/21(金)
参加費 : 昼食付き・無料 (交通費は自己負担)

当日のタイムテーブル		
9:30	開場	・10時までに、運動場に集まってご集合下さい ※更衣室をご用意しています
10:00～10:05	開始・オリエンテーション	・当日の内容をご説明します
10:05～11:30	体組成測定 健康体力チェック	・自分の体組成も分かること測定! また、健康に生きるために必要な体力をチェックします
11:30～12:00	運動レッスン	・東海大学 萩先生が、自宅で出来る、効果的な運動をレッスンして下さい
12:00～12:30	昼食・食事講座	・健康食のお弁当を食べながら、「正しい食事の仕方」について講義をお聞かせします
12:30～13:00	健康プログラム紹介	・フェア後も継続的にご利用頂ける、健保提供の健康プログラムを紹介致します
13:00～13:30	アンケート記入 ・自由解散	・アンケート記入後、自由解散となります

第3回 チラシ

エスアールエルグループ健康推進協会
株式会社エスアールエル 九州事務所

参加無料
限定50名様
九州エリア従業員・家族向け健康イベントのご案内

家族で健康日和! 1日プログラム

～正しい食事と運動レッスン～

日時
2015年3月15日(日)
10:00～15:30
(9:30受付開始)

場所
春日市
ふれあい文化センター

対象者
九州エリア勤務の従業員
およびそのご家族

申込み
事前申し込み
(FAX/e-mail/電話)

お切り
2月27日(金) 17:00

参加費
昼食付き・無料
(駐車料代:交通費は自己負担)

9:30 受付開始
10:00までに、運動場に集まってご集合下さい
※更衣室をご用意しています

10:00 開始:体力・身体測定
自分の体組成を知ることで測定! また、健康に生きるために必要な体力をチェックします
プロに学ぶ!

12:15 運動レッスン
東海大学 萩先生が、自宅で出来る、効果的な運動をレッスンして下さい

12:45 ～昼食休憩～
※お弁当をご用意いたします

13:30 食べ方のススメ
「体に優しい食事の仕方」を、プロの講師がレッスンして下さい

14:00 健康プログラム紹介
フェア後も継続的にご利用頂ける、健保提供の健康プログラムを紹介致します

15:00 アンケート記入・自由解散
アンケート記入後、自由解散となります
※タイムテーブルは当日変更になる場合がございます

今年こそ体づくり! と毎年思っているあなた! 家族と健康に過ごすため、「正しい食事」と「自宅で出来る運動」を学びませんか?
健康のプロを講師に迎えた、**昼食付き**のお得な1日プログラムにご参加下さい

※第3回目は、同レイアウトのポスターも掲載した

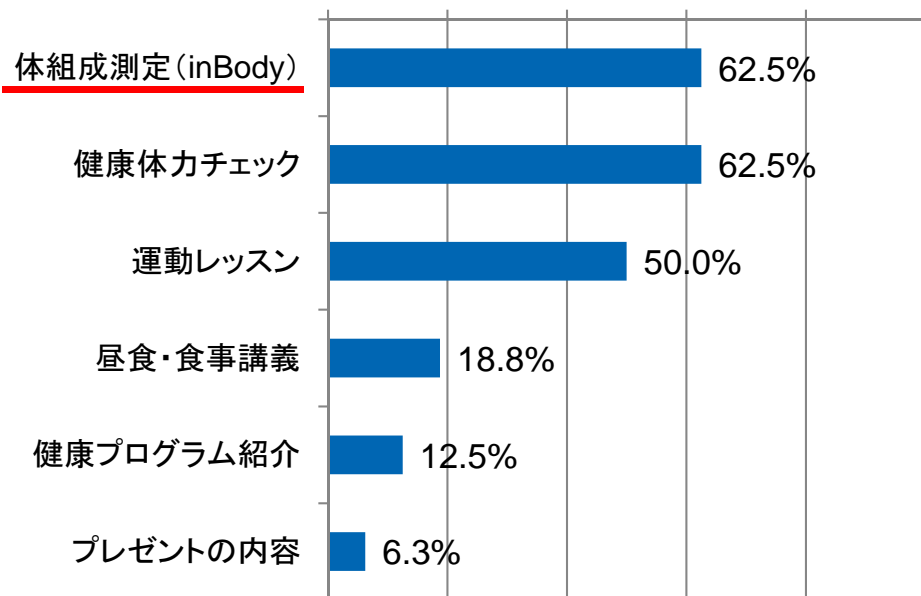
III.夫婦プログラムに関する報告_事業の評価指標及びその結果

実施後のアンケートから得られた示唆①

2回目アンケート

申し込み時に関心のあったテーマ

0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%

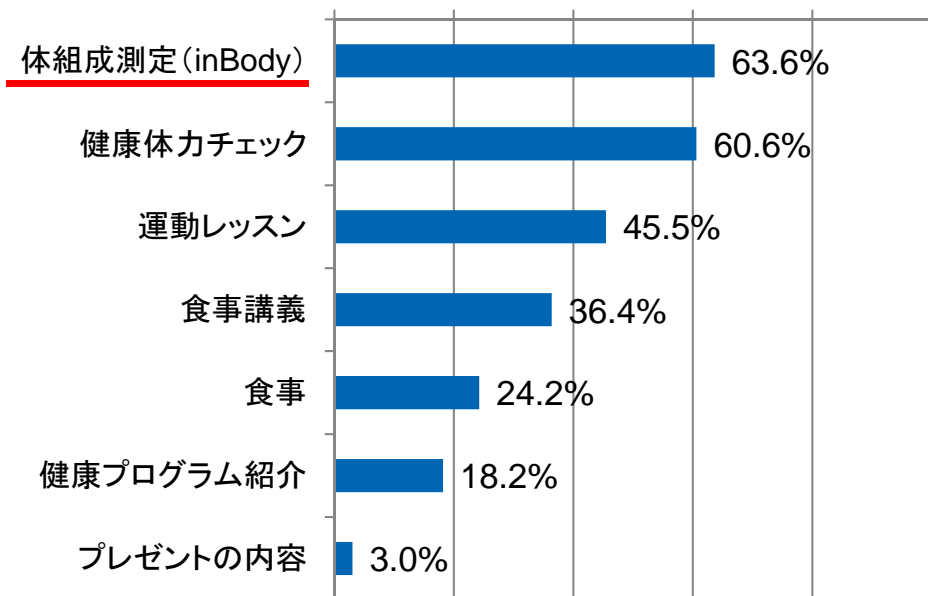


(N=16)

3回目アンケート

申し込み時に関心のあったテーマ

0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%



(N=33)

アンケートから 得られた示唆

- ✓ 健康に対するイベントを行う場合、「inBody」のような最新機器を用いて、興味を引くことが重要
- ✓ レッスンや座学形式の“受け身”のプログラムより、自分の体が見える化するなど、“参加型”のプログラムが集客に繋がる

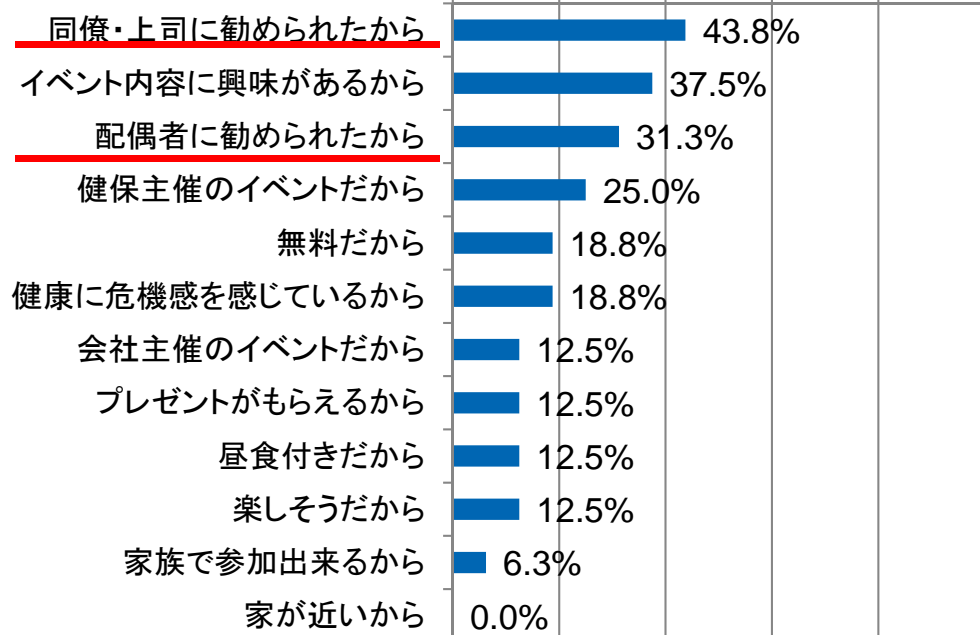
III.夫婦プログラムに関する報告_事業の評価指標及びその結果

実施後のアンケートから得られた示唆②

2回目アンケート

イベントに参加した理由

0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%

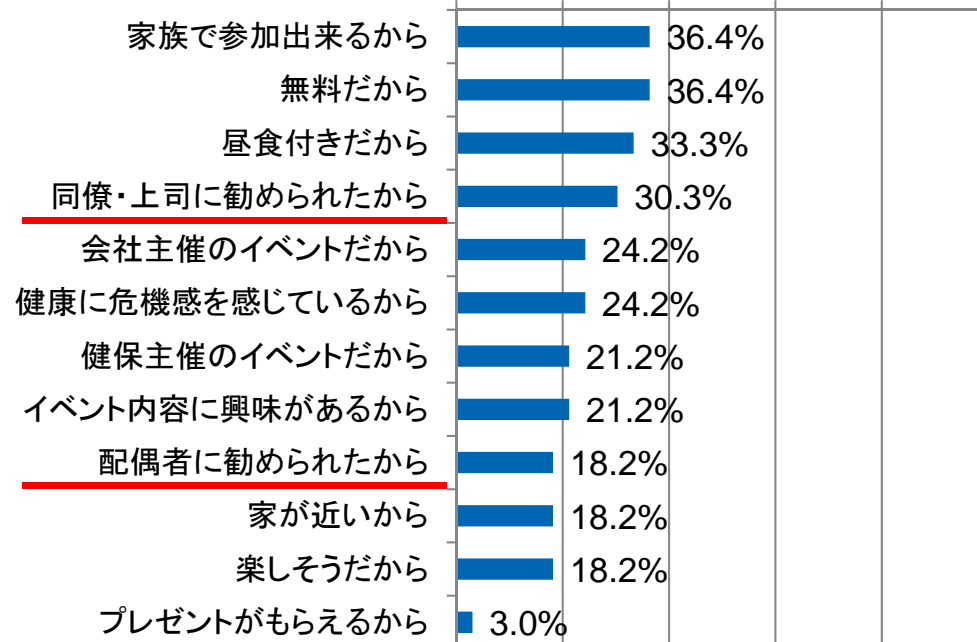


(N=16)

3回目アンケート

イベントに参加した理由

0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%



(N=33)

アンケートから 得られた示唆

- ✓ 健保主催で行うイベントで有っても、参加の動機付けには社内の“口コミ”による影響が大きく、実施する事業所を通じた広告(協力が必要)が欠かせない
- ✓ 参加率を上げるには、家族参加や配偶者参加など、本人以外を巻き込んだ仕組み作りが重要

III.夫婦プログラムに関する報告_事業の評価指標及びその結果

実施後のアンケートから得られた示唆③

2回目アンケート

参加後の意識変容

- 来てみてよかったです、筋力アップの体操してみます。
- 運動レッスンの一部は職場でも導入したいと思いました。
- 食事、特に朝食のバランスを見直しました。
- 年々変化する自分の状態を知ることができました。
- 1人だとサボってしまうので、健保さんで夕方、ラボで運動プログラムを定期的に行うなどをして欲しいです。

3回目アンケート

参加後の意識変容

- 昔、体力にも健康にも自信があったのに、今は別人です。少しでも回復したいです。
- 生活リズム、食生活を改善するきっかけにしたい。
- 普段動かせていないところを動かせたので良かった。
- 柔軟運動などは普段しないので、久々にやってみて体がなまっていることに気付いた。また、規模感がちょうどよかった。
- 最近太ってきたのでやせたかった。太ったことに気付いたのはこれまで履いていたズボンが入らなくなったため。食べるのが早い。1口食べるたびに箸を置くというのは聞けて良かった。
- 勤務時間が不規則な夫に合わせて、自分自身も不規則になっていた。これからは改善させていきたい。

アンケートから 得られた示唆

- ✓ 測定による自身の状態の見える化＋運動指導＋食事指導のセットにすることで、複合的な意識改善・生活改善を促す事が出来た
- ✓ 個人にアプローチするプログラムよりも、他社員とともに参加することで相乗効果が生まれた

III.夫婦プログラムに関する報告_事業の評価指標及びその結果

**本年度は、参加人数および、参加したうちの意識変容を評価することができた。
来年度以降、実施内容を強化することで、健康変容も指標に加えていきたい。**

事業の評価指標	結果
<協力事業所を増やすことが出来たか> ・実施した事業所の数	・3回の企画を通じて、2か所の事業所の協力を得た
<夫婦参加を拡大させることが出来たか> ・参加した夫婦の数 ・参加者数	・3回の企画を通じて、夫婦12組合む、56名がイベントに参加した
<イベントを通じて次年度保健事業への勧誘に繋がったか> ・イベントでの次年度保健事業への参加希望人数	・3回の企画を通じて、10名が次年度保健事業への参加を希望した
<夫婦同時のイベントによって動機づけされたか> ・夫婦の実施により参加を促された人数	・3回の企画を通じて、11名が配偶者によって参加を促された
<イベントを通じて意識・生活態度の変容が起こったか>	・イベント後の意識・生活態度改善に関わるコメントが多く見られた

III.夫婦プログラムに関する報告_評価結果をふまえた今後の事業の方向性

**今年度は、イベントを通じて健康意識の改善が見られたほか、保健事業参加促進の効果を
確認出来た。まだ小規模の事業であるため、来年度以降は本格的な拡大を目指す**

■ 成果

- 今年度の大きな成果は、以下の三つである
 - ・ イベントを通じ、従業員の生活における健康改善への課題を蓄積することが出来た
 - ・ 参加者の健康意識の変容が確認出来た
 - ・ 家族単位でのイベント実施が、保健事業参加促進になることがわかった
(夫婦同時の施策実行が効果の最大化に繋がるかどうかは、次年度以降の検証)

■ 課題

- ① 来年度以降は、さらに参加率を上げる必要がある
- ② 主にリスク対象者について、保健事業への参加を促す効果を高める必要がある
- ③ 保健事業に参加した対象者の健康改善に繋げる必要がある

■ 今後の方向性

- ① 実施事業所の拡大
 - ・ イベント実施の事業所を拡大し、各イベントでの参加促進をさらに強化する
- ② イベント内容の豊富化
 - ・ イベントの中で、参加者に対する意識変容を起こさせるコンテンツを豊富化させる
- ③ 保健事業の豊富化
 - ・ 1日プログラムだけでは効果は発現しないため、長期間の保健事業や教育入院など、健康改善に繋がる保健事業を豊富化させる

I. 事業実施に至る背景・目的

II. 健康スコアに関する報告




III. 夫婦プログラムに関する報告

IV. まとめ

IV.まとめ

本年度の事業は、参加者の生活態度改善、および効果向上の素地づくりを実現することが出来た。来年度以降は、健康指数の改善・医療費の適正化へと繋げていく

■ 教育入院については、前年度施策より、参加した対象者の健康指数改善が確認されている。

	状態の変容				
	自分の状態把握	意識の改善	生活態度の改善	健康指数の改善	医療費の適正化
					
実行施策	健診・人間ドック データの開示	夫婦プログラム (健康フェア)		フォロープログラム 保健指導 教育入院	
効果の検証	—			<ul style="list-style-type: none"> 一部効果検証済 次年度以降に詳細検証 	<ul style="list-style-type: none"> 次年度以降検証

各施策の実行力向上のための施策

健康スコア

...本事業にて検証